

医学研究に関する情報公開および 研究協力へのお願い

福井大学医学部附属病院第一外科では、福井大学医学系研究倫理審査委員会の承認および医学系部門長の許可を得て、下記の医学研究を実施しています。

こうした研究では、対象となる方に関して既に存在する試料や情報、あるいは今後の情報や記録などを調査しますが、対象となる方にとって新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

このような研究では、国が定めた倫理指針に基づき、対象となる方お一人ずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。

ご自身の情報や試料を研究に使用してほしくないという場合や利用目的の詳細など研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」へご照会ください。研究への参加を希望されない場合、研究結果の公表前であれば、研究期間内にご連絡いただいた時点より対象から除外いたします。なお研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありませんのでご安心ください。

福井大学医学部附属病院 第一外科
承認日:2023年9月8日 Ver.2.0

【研究課題名】

切除不能悪性腫瘍による消化管閉塞に対する緩和手術の検討

【研究期間】

医学系部門長承認日～2025年5月31日

【研究の意義・目的】

切除不能な悪性腫瘍や腹膜播種による消化管閉塞は保存的治療を用いても十分な効果が得られない場合も多い一方で、病勢により予後が不良であったり、全身状態も悪いケースも多く、外科的治療を選択する上では難しい問題となります。

これまでに緩和手術を行った症例における術後の経過を検討することは、今後同様の状況下で治療方法を選択する上での1つの指標となると考えられます。

【研究の内容】

1. 研究の対象となる方

2007年1月1日から2021年3月31日まで、当科で緩和手術(バイパス術や人工肛門造設術)をされた方。

2. 研究に用いる試料・情報

診断名、年齢、性別、身長、体重、現病歴、前治療、術前減圧の有無、腹膜播種・腹水の有無、術式、術後経過(合併症・再閉塞・消化管閉塞症状の有無など)、術後入院期間、退院形式、術後全生存期間、術前後の消化管閉塞症状(症状緩和の有無)

なお、研究成果は学会や雑誌等で発表されますが、個人を識別できる情報は削除し、公表しません。また、取り扱う試料・情報は厳密に管理し、漏洩することはありません。

3. 研究の方法

診療録を用いて、緩和手術症例の術後について検討を行います。

【利益相反について】

利益相反とは、外部との経済的な利益関係(資金提供など)によって、研究データの改ざん、特定企業の優遇など研究が公正かつ適切に行われていないのではないか(企業に有利な結果しか公表されないのではないか)と第三者から懸念されかねない事態のことをいいます。

この研究は、特定の企業や団体から研究資金や給与・謝金など、特別な便宜を受けていないことを福井大学臨床研究利益相反審査委員会に全て報告し、利益相反状態でないと判定されています。研究を公正に遂行し、対象となる方に不利益になることや、研究結果を歪めることは一切いたしません。

【研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手・閲覧方法】

本研究では、研究計画書及び研究の方法に関する資料に関しては、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内に限り入手又は閲覧が可能です。その入手・閲覧をご希望される際には下記「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。

【個人情報の開示等に関する手続き】

本学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。詳しくは下記ホームページをご覧ください。

《福井大学における個人情報保護について》

http://www.u-fukui.ac.jp/cont_about/disclosure/privacy/

【研究責任者】

福井大学医学部附属病院

第一外科 教授 五井 孝憲

【本研究に関する問い合わせ窓口など】

○問い合わせ窓口

研究事務局：福井大学医学部附属病院第一外科

担当 大学院生 山田起三子

〒910-1193 福井県吉田郡永平寺町松岡下合月 23-3

電話：0776-61-3111(内線 2343)

FAX：0776-61-8113

E-mail：gekaone@u-fukui.ac.jp

○ご意見・苦情窓口

〒910-1193

福井県吉田郡永平寺町松岡下合月 23-3

福井大学医学部附属病院医学研究支援センター

電話：0776-61-8529

受付時間：平日 8:30～17:15(年末年始、祝・祭日除く)